

ちば通研だより No.506

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

～2025 年度も有意義な一年にしましょう～

4月20日(日)千葉聴覚障害者センター3階多目的ホールにおいて、2025年度ちば通研の総会が無事開催され、役員改正により新体制でスタートしました。

会場参加と集団視聴・個人視聴のハイブリット型が定着し、集団視聴会場のご準備には、地域班の皆さまのご協力をいただき本当にありがとうございました。

午後からのちば通研講座は、南村洋子氏を講師に、「きこえない子を育て関わって、今、思うこと」と題し、きこえないお子さんを育てられたご自身の経験を踏まえ、大塚ろう学校において乳幼児相談に関わる中で、きこえない乳幼児への手話によるアプローチがその後の成長にいかに重要であるか、保護者への徹底した指導が大きな成果に繋がっている事例の紹介等、先生の信念が心に沁みる素晴らしい内容でした。出だしPCトラブルでご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ありませんでした。

いよいよ11月15日から、100周年目の記念すべき「東京2025デフリンピック」が、日本で初めて開催されます。日本では認知度が低いと言われてはいますが、もっともっと多くの人々にデフリンピックやデフスポーツを知ってもらえるよう、地域での周知活動に協力し、デフアスリートを応援し共にデフリンピックを楽しみましょう。

アンパンマンの生みの親でもある、やなせたかしさんがこんな言葉を残されています。「それぞれが自分にできることをやる。そうしたことが積もり積もって、社会をよりよい方向に動かしていく」まさに、ちば通研活動そのものだなあと感じます。私たちは縁あって手話やきこえない・きこえにくい仲間に出会い、多くのことに気づかされ、社会を変えたいと活動しています。全通研で学んだ理念を地域活動に活かし、手話を広め、きこえない・きこえにくい仲間の理解者を増やし、誰もが暮らしやすい社会を目指して、日々自分にできることを少しずつ積み重ねていきましょう。

会員の皆様には健康に留意され、一年間よろしく願いいたします。

(会長 米田 市子)

4月22日時点でのちば通研の会員数は245人
(読者会員会員数は7人)
2025年度の目標数は350人です
数は力！ みんなで会員を増やしましょう～



ちば通研定期総会 報告

4月20日(日)、10時から12時まで、千葉聴覚障害者センター3階多目的ホールを主会場に、2025年度定期総会が開催されました。参加者は、会場31人、集団視聴会場10会場で63人、個人視聴5人、委任状156人の合計で255人でした。来賓には、千葉県聴覚障害者協会渡邊義幸様、千葉県手話サークル連絡協議会会長外口晴久様(集団視聴会場より)にご臨席を賜りました。渡邊様より優生保護法裁判と聴覚障害のある女兒の交通事故死の裁判に関し、差別のない公正な判決が出るという大きな成果を嬉しく思うこと、デフリンピックに関連して“千葉のおもてなし”について心温まるお話をいただきました。また、外口様よりちば通研の協力のお陰で南総グループが復活できたこと、昨年は防災について話をする機会があったので今年も必要に応じて対応すること、デフリンピックをともに盛り上げていきたいとお話がありました。

米田会長からは、「手話施策推進法案可決後の暮らしやすい社会に関することや、きこえない人とのつながりの中から学びを広め、社会に還元するという務めがある」との説明があり、改めて襟を正す思いでした。続いて、各部、各専門班担当者からの報告、会計決算報告、監査報告、その後2025年度の活動計画案及び予算案、2025年度・2026年度役員選出について審議しました。全ての議案が賛成多数で可決され、総会は皆様のご協力もあり12時に終了しました。会場、集団視聴会場及び個人視聴で参加の皆様、総会運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。

(組織部 鵜澤 恵子)

～退任者あいさつ《氏名の後の()は旧所属》～

河野 明美 (広報部)

総武地区からの役員として2年間、広報部で「ちば通研だより」の編集を担当しました。原稿を執筆してくださった皆様、ご意見や感想をお寄せくださった皆様、読者の皆様、本当にありがとうございました。おかげをもちまして毎月欠かさず発行することができました。役員は退任しますが、今後も広報部のメンバーとして残りますので、よろしく願いいたします。

宮下 栄子 (組織部)

2年間組織部として活動させてもらいました。いろいろな人の努力があってちば通研が成り立っているのだということを改めて学ばせていただきました。この経験をこれから地元の活動に活かしていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

中山 直子 (組織部)

2年間組織部員として活動しました。新任挨拶でも申し上げたとおりパソコンや機械が苦手でしたが、毎月の組織部会議・地域班会議のおかげでZoomができるようになりました。また、県のいろいろな行事で通研として書籍販売等を行い、皆様に会える事が楽しみの1つでした。終わってみるとあっという間でした。今後は地元地域で細々と活動していきます。ありがとうございました。

辻 秀子（監査）

監査を通じ、「ちば通研」の会計の流れを改めて知ることができました。4月号の「会費について」に書かれているように、一人当たり3,500円の運営では厳しい状況も分かりました。全国の集会に参加すると、お薬手帳入れや、手作りアクセサリ、指文字クリアファイル等販売されていて、物品販売で資金調達されているのかと納得しました。今後は書籍や海苔購入等で協力したいと思います。ありがとうございました。

笠松 裕子（監査）

皆が気持ちを寄せあって活動したことが、数字を見てよくわかりました。2年間ありがとうございました。

～新任者代表あいさつ～

この度、副会長の任を拝することとなりました。会員歴は長くなりましたが、地域班長をいたした程度で、ちば通研のお力にはなれていなかったと自覚しております。

役割として何をしていけばよいのかまだよくわかっておりませんが、会長や役員、会員の皆さまをお支えし、会員拡大を目指します！どうぞよろしく願いいたします。

（副会長 阿部 恵子）

*新役員

阿部恵子（副会長）、菊地恵美子（北総：流山班）、佐川ちとせ（中央：千葉市班）

田中幾子（総武：習志野班）、三澤輝之（南総：かずさ班）

ちば通研講座 報告

4月20日（日）、13時30分から、千葉聴覚障害者センター3階多目的ホールにて、ちば通研講座をハイブリッド型で開催しました。参加者は、会場32人、集団視聴（9会場）65人、個人視聴17人の合計で114人（内きこえない人7人 一般4人）でした。

講師に南村洋子氏をお迎えし、「きこえない子を育て関わって、今、思うこと」のテーマでお話をいただきました。前半はきこえない娘の親としての子育て、後半は都立大塚ろう学校早期教育相談員としてのきこえない子と保護者への早期支援の実践から、きこえない子どもたちが「目の人」であること、手話の大切さをお聴きして、心の底からこみ上げるものを抑えきれない思いがしました。

機器上のトラブルから開始が少し遅れましたが、質疑応答も絶えず30分以上延長しました。熱心に受講してくださった皆様に、お礼を申し上げます。

（組織部 野島 晃）

ちば通研講座に参加して

集団視聴で参加しました。その中で子供がきこえないと分かった時の保護者に対する支援の重要性を知りました。そして初めて聞いた「子供は目の人」ストーンと腑に落ちました。そして子供たちが社会に出て不自由のない人生を送ることができるよう、サークルで学ぶ私たちの役割は、手話を広める活動を続けることだと思いました。

（富里班 小堀 和子）

「福祉の現場を経験して しろろが語る！」 Vol.2

人権を自覚したケースワーカー時代

同和地区の被保護世帯の家庭訪問

1970-80年代私は(東葛飾地域で)生活保護のケースワーカーをしていました。当時担当していた町は今隣市に編入されました。千葉県内には昔から大きな同和部落が複数あり、その住人の方たちは「屠畜」「墓掘り」「解体業」という極めて限られた職業についておられました。生活困窮世帯が多く、近親結婚が多かったせいか障害児の発生率も高かったです。今は考えられないことですが同和地区出身者の姓や地区名が書籍として書店で売られていました。それで出自が知れると就職や縁談がご破算になることも多々あると民生委員から伺いました。

重度の知的障がい者や認知症の高齢者が数多く精神病院に入院していたりと1980年代初頭までは人権軽視の時代で、同和問題に対する地域の理解もとても遅れていました。

その頃ようやく私は「部落解放同盟」や「住井すゑさんという作家」の存在を知り、その著作を読みふけるようになりました。

先日久しぶりで著書「橋のない川」第一巻を手にしたところ、その冒頭に「昭和59年2月15日記念講演打合せのため講師自宅を訪ねる」という私のメモが記されていました。また、そこに偶然野田集会のスナップも発見いたしました。(写真は、集会速報を作っているところ:左から寺本勝さん、折重美保子さん、20代中頃の私です)



町役場職員からの貴重なアドバイス

同和地区の被保護世帯を家庭訪問する前に町役場職員が発したアドバイスを私は今もはっきり覚えています。「訪問先でお茶が出たら必ず一口は飲んで下さいね」「同和地区の人たちは外からのお客が来るとそんなことでも気にするから」と。役所の職員が率先して差別意識を持たないようにとの配慮。それは新米ワーカーの私にとって「きほんのき」となり、とても大切な金言でした。

+++++

【住井すゑさんの紹介】

1902年1月生まれの作家・思想家。嫁いでは茨城県牛久沼のほとりに住まい、農民運動・部落(同和)問題を中心に「人間の解放」「平和と平等」を訴えながら80過ぎまで作家活動を続けられ1997(平成9)年6月、95歳で他界されました。

全国水平社の設立を描いた著書「橋のない川」は大きな話題を呼び1984(昭和59)年の第六回千葉県集会(野田集会)の記念講演に招致、「ヒトの平等」について貴重なお話を聞くことができました。集会の約三か月前に当時の役員たちと牛久の自宅をお伺いして、五月の集会当日は私が送迎を担当したので、車内での会話も含めその時のことはよく覚えています。後日テープ起こしをし研究誌として記録も残したので、ぜひ後輩の皆さまたちにも一読して頂きたい珠玉の講演でした。





医療班コーナー

薬って、何？

薬は、体内に吸収されて、病気の診断、治療又は予防に使用されます。

法律的には、他にも規定があります。

薬には、様々な形（剤形）があります。

薬の効果を十分に得るためには、剤形ごとの特徴を理解し、使い方のルールを守ることが大切です。

誤った使い方をすると、目的外の作用が起こり、副作用につながる場合があります。

◎薬の剤形 主なものをあげると（正式な分類とは違います）

- ・内服薬（のみぐすり） 口から飲んで、胃腸から全身へと吸収されていく
 - 錠剤 特殊な加工をしたものもある 砕かずにそのまま服用する
 - カプセル剤 カプセルは体内で溶ける 開けずにそのまま服用する
 - 顆粒剤 粒子がやや大きめの粉薬 服用しやすい加工もある
 - 散剤 粉末状の粉薬
 - 内用液剤 液体のまま服用するもの他、小児のドライシロップのように服用時溶解する薬剤もある

- ・外用剤 主に体の外側から使用する薬剤
 - 塗布剤 軟膏、クリーム、ゲル、ローションなど
 - 吸入剤 専用の器具を使い、口から吸いこむ
 - 貼付剤 主に皮膚に直接貼る
 - 坐剤（坐薬） 肛門に挿入する 体内では体温で溶けて吸収
 - 外用液剤 皮膚等に塗布、スプレーする液剤など
目的の部位に使用する（点眼、点鼻、点耳、うがい薬など）
 - トローチ剤 口腔内で唾液で溶かす

- ・注射剤 特定の器具を使用し、皮下、血管内等へ直接投与する薬剤
医師、看護師が投与する以外に、患者自身が使用する薬剤も増えてきている

薬についてわからないことがあれば、かかりつけの薬剤師に相談をしましょう。
普段から自身の身体、薬のことは、自分で管理する心構えが大切です。

そのためにも、おくすり手帳は常時携帯しましょう

（外出先で急な対応や災害時にも役立ちます）

医療班では出前講座・押しかけ講座 あります！！
ご相談お待ちしております。



保育♡子育て支援班

保育所から転職し、現在勤務している「認定こども園」について自分自身が今一つ理解できていないということもあり、整理してみました。

乳幼児期の教育や保育、地域の子育て支援の質の向上を目的として2015年4月に創設された「子ども・子育て支援新制度」により、幼稚園から認定こども園に移行した施設が多いようです。

◎主な変更点

1. 保育認定（1号・2号・3号）が必要になる
2. 保育料や認定により利用時間が変わる
3. 入園の手続きが変わる
4. 生活スタイル、働き方に合わせた保育利用がしやすくなる



◎保育認定とは

1. 1号認定：教育希望3～5歳・保育を必要としない⇒幼稚園・認定こども園
2. 2号認定：保育希望3～5歳・保育を必要とする事由に該当する
⇒保育所・認定こども園
3. 3号認定：保育希望0～2歳・保育を必要とする事由に該当する3歳未満児
⇒保育所・認定こども園・地域型保育

※ 2号・3号は「保育標準時間（最長11時間）」「保育短時間（最長8時間）」に分かれます。
(保育・子育て支援班長 渡辺 裕美)



No.10

わっこ (矢吹和夏子) 今月のオススメ!



『温故知新①』 手話通訳制度を巡る変遷 1,740円

発行は少し前にはなりますが、現在受講されている方には是非、手に取っていただきたい1冊です。研究誌に以前掲載されたものをまとめています。全通研の歴史を知る意味でも貴重な本です。既にお持ちの方は振り返りの意味でも再度ご一読ください。

「安藤・高田論文」の背景・障害者自立支援法や障害者総合支援法と法律が制定される中、全通研が関わってきた様々な活動について詳しく掲載されています。そしてQ&Aコーナーにて、わかりやすく説明されています。聴覚障害者制度の改革への取り組みや運動が理解されることと思います。今後どう向き合うか皆さまとご一緒に考えたいと思います。

申し込みは、ちば通研事務所まで アドレス syuwa@nifty.com

◎ちば通研では書籍等で販売による売り上げの一部をちば通研の活動に充てています。

ぜひ、ちば通研から書籍等を購入頂けるようお願い致します。

少しお時間が掛かり待ち遠しい気分ですが、ワクワクしている時間も大切です。



私のイチオシ …六つ星班…



☆六つ星班 班員のイチオシ&オススメ集めてみました☆

私のイチオシは、庭の花。これから楽しめる紫陽花。隅田の花火（ガクアジサイの一種）です。まず、名前がいい！花火が打ち上がった様子をイメージして名付けられたそう。お花も白くて可憐な花びらでとっても素敵なんです。今年も咲きますように。(SN)

私のイチオシの曲は、スピニングトール・テリー・ファンク（プロレス）の入場のテーマ曲です。当時小学生でしたが、私はテリー・ファンクに、負けない心・正義の心を学びました。テリー・ファンクに、出逢わなければプロレスファンにはならなかったと思います。テリーフォーエバー ✨ありがとう ✨ (MN)

私のイチオシは、釜揚げしらす、しそ、ごま、ごま油にお醤油を垂らしてご飯に混ぜたおにぎりです。そんなのとっくに知ってるわよー！な方もいるかもですが、私は50数年生きて来て最近出会ってしまったのです。まだの方は是非、お試しあれ！（Z）

お宿探しにハマってます。昨年2回脳梗塞を発症した夫が泊まれる宿。近場ということで千葉県内。大浴場に入れないので部屋の風呂はトイレとは別で広くてゆったり入れる所。見つけました！南房総市展望風呂付きのお部屋。手すり付きでシャワーチェアも貸してくれる。海を見ながらホッ！いい気分！おすすめです！老々介護の疲れも吹っ飛ばす(笑)生ビールがうまい！（ポンコ）

「蓮沼交流センター」がイチオシです。道の駅オライはすぬまに隣接する複合施設で、イベントが盛んに行われ、クッキングスクール・トレーニングルーム・更に津波避難のための機能も備えています。屋外にはキャンピングカー用フックアップ施設もあります。設立時のトップ、行政の在り方に他市から見たら尊敬、羨望と手本になる5階建てです。是非、スロープなどものぞいてみてくださいませ。(SH)

私の最近のイチオシは、お菓子のグミです。仕事柄車を運転することが多いので、合間に一口入れるとまずその弾力のある食感が楽しめ、次に広がるフルーツの風味がとてもおいしいです。形や色も様々で、見た目にも楽しく、手軽に食べられるので、おやつやお出かけの時にもぴったりです。また、最近ではいろいろな新しいフレーバーのグミも登場していて、飽きずに楽しめます。忙しい日常の中でもちょっとしたリフレッシュを大事にしていきたいです。(MK)

この頃 AI との会話で宇宙の起源とかを議論していますが（人との対応は苦手なのでw）結構おもしろいですよ(*^*) (FT)

地域班通信

船橋班：研修で良かったことを出し合うということをした。嫌なことや腹の立ったことはきりが無いのに、はたと出てこない。思えば暖かい布団で眠れること、お湯のはったお風呂に浸かれること、衛生的にトイレを済ませられること、家族が健康であること。全て良いこと。人間の脳は嫌なことにセンシティブになるように設計されているのかも。(M)

富里班：一人暮らし歴4年目にして職場へ持っていくお弁当を作り始めたのですが、料理が得意ではない私にとってはとても苦痛なので、毎週日曜日にまとめて5日分作って冷凍するようにしました。平日朝の時間とランチ代を節約できてとても満足です。5日間全部同じメニューでも気にならないズボラな自分に感謝です笑。(MH)

六つ星班：薬の飲み方についての勉強会に参加し、聞こえない方に説明することの難しさに気づきました。言葉が通じにくいときこそ、目で見て伝える工夫や、相手の気持ちに寄り添う姿勢がとても大切だと感じました。この学びを通して、自分の伝え方を見つめ直すきっかけになり、今後も一人ひとりに伝える工夫を意識していきたいと思います。

白井班：我が家の電気製品が次々と悲鳴をあげ始めています。その中でも冷蔵庫を買い換えたいと思っているのですが、カードのポイントをためて買おうということになりチャレンジを始めてはや三年。冷蔵庫の値段も上がり続けいつになったら買えるのか。ポイントがたまる前に冷蔵庫が壊れるのではとひやひやしている今日この頃です。今年の夏を越えられるかな。

鎌ヶ谷班：桜が散り、辺りが新緑になる頃、大好きな林檎の花が咲き始めます。若葉の間から顔を出す紅い蕾は、少しずつ膨らみながら、淡いピンクに染まり、やがて白い花を咲かせます。「赤毛のアン」の舞台。プリンス・エドワード島に、林檎の並木道があるそうです。想像の翼を広げ、林檎の花の下を歩くとしましょう♪ (TF)

習志野班：新年度が始まりましたね。今年度は新しいメンバー2人も加わり賑やかになりそうです。皆さんがこの一年を健康で手話の研鑽が積めますように。私も12月の統一試験に向けて決意を新たにしています。一年間よろしく願いいたします。

かずさ班：4月8日、花まつり【灌仏会】に行ってきました。お釈迦様のお誕生日のお祝い行事です。花御堂に手を合わせ、甘茶を頂くと、心が洗われるような、気持ちになります。ここ数年、スタッフをさせていただいてまして、庵主さまの無茶振りにより、参集の皆さまに「ありがとう」の手話を披露しています。今年は、デフリンピックの啓発もしてきました。花まつりも、手話も、デフリンピックも、皆さまに広まりますように。合掌。(HF)

海匠地域班：毎年春が来て、今年もさくらをはじめ、色とりどりの花が咲きました。地域班にも春が来て、新規入会とお別れの退会がありました。長年、頑張っただけの方とお別れは寂しいですが、新規入会の方と新しい地域班の歴史を作っていけるように、まだ頑張らないと、ですね。

千葉市班：先月、法事で広島に行った帰り、新幹線を途中下車して姫路城と京都の東寺に立ち寄ってきました。気づいたらどちらも世界遺産。言葉で表しきれないパワーをもらいました。でも、何より楽しかったのは、どこで何をみるか、スケジュールを考えている時でした。旅ってそんなものですよ。さあ、次はどこへ行こうかな。

わかしお班：早いもので、千通研に入ってから1年が過ぎました。まだまだ不慣れですが、がんばっていきたいと思います。今年も地元で、福祉こどもまつりが開催される予定で、今回から手話コーラスもやることになりました。子どもたちだけではなく、地域の人たちに手話の魅力を届けていきたいと思います。(YK)

八千代班：『曼荼羅塗り絵』にはまっている。○1分で集中、数分で気分転換できる。○花や動物のように決まった色がないから、気分で色選べる。○失敗しない。途中色の組合せが変！と思っても、完成品はどれもなかなかの出来栄になる。これが気に入っている理由だ。注意点は、ムラなく丁寧に塗ること。そして楽しすぎて時間を忘れないこと。

流山班：うちの市のある部長さんは、とても積極的に手話でろう者とお話しようとしてくれます。挨拶だけでなく簡単な会話も、自分から手話で話しかけています。いろいろな面で理解があり、ここまでの方はなかなかいないなあと思うほど。やっぱり人間性ですねえ(emiko)

市原班：昨年で最後にしようと思っていた全通研夏フォーラムが今年は京都で開催される。いこいの村聴覚言語障害センターにも行ってみたいし、せっかく京都まで行くなれば少し足を伸ばして、大阪万博にも行ってみようかと思案中。暑さ負けしないか？ と少し心配ではあるが…(FK)



市川班：市川市真間川、満開の桜の枝の間から真ん丸な月が見えてとても情緒的でした（写メが上手く撮れず残念でした）。さて桜吹雪もたいがいに、市川市の5月と言えば、壮観な国分川に泳ぐ鯉のぼり、母の日に向け京成市川真間駅が「市川ママ」駅に！ 雄大な江戸川の流れと遊歩道、行徳の神輿。市川市ってなにげにインスタ映えするところがたくさんあります。ぜひ市川市においでください。

八街班：4月5日に市協会、サークル、地域班でさんむの森公園でお花見をしました。桜満開！ 春の柔らかな日差しの下美味しいお弁当を食べて、手話ベリにも花が咲きました～。次はどこに行こうかな？ ワイワイ集まってお出かけは最高！です。

印西班：昨年の桜の季節は故郷にいた。介護の心得などないのに母の手伝いを必死でしていた。施設へ移るまでの間一緒に頑張るつもりが、思わぬ自宅での看取りとなった。祖父母とも離れて暮らしていたので、人の老い、死が身近にはなかった。母を通して初めての体験をした。後悔もあるが仕方がない。今年の桜は印西で楽しんだ。来月は父に会いに行く。(K)

成田班：新しい年度が始まり環境が変わられた皆様、心身辛い思いをされていませんか。宇宙飛行士「米田あゆ」さんが会見時に話された「選択後どっちが正しかったかと悩むのではなく、自分が選んだ道を正しい道にする努力をする」。悩むことの多い私は、この言葉が強く胸に残っています。



2025・2026年度役員一覧

会長	米田 市子	組織部長	○野島 晃	保育・子育て支援班長	渡辺 裕美
副会長	○石鍋 久子	組織部員	鶴澤 恵子	ろう教育班長	上條 文裕
副会長	○阿部 恵子	組織部員	三澤 輝之	労働班長	粉 純子
事務局長	○折原 由紀子	組織部員	菊地 恵美子	ICTちば代表	田村 文美
事務局員	原 公代	N-Aちば代表	上利 理沙	後援会代表	○石鍋 久子
事務局員	矢吹 和夏子	研究部長	北原 洋貴	後援会代表	森 政和
事務局員	佐川 ちとせ	医療班長	北原 洋貴	監査	高橋 悦子
広報部長	渡辺 正夫	健対班長	平野 百合子	監査	山田 尚子
広報部員	田中 幾子	TMG班長	田村 文美		○は代議員

役員短報

日時：4月6日（日） 9:30-12:30

会場：千葉聴覚障害者センター3階

参加者：24人

<主な議題>

○三役

- ・今後のちば通研の収益事業として耳の日まつりにおいて好評だった缶バッジ、レジンのキーホルダー、海苔の佃煮などを継続していく。新芽まつり、秋穫祭、耳の日まつりなどで販売していく予定。詳細については今後検討する。
- ・第37回全国ろうあ者大会 in いわて 2027年に開催される千葉大会を成功させるため視察に参加する協力者を募った。
- ・アコム“みる”コンサート物語について会員に情報提供していく。
- ・役員改選について
地域班から選出された人の役割分担を決定した。
役員候補者や代議員の氏名を印刷して郵送した。総会で決定する。

○事務局

- ・2024年度決算報告と2025年度予算案を確認した。
- ・事業会計については収入で講座の運営をしていくのは困難な状況である。2026年度に向けて、改善方法を検討していく。
- ・年度末の会計処理の時期を早め、決算書、予算書の作成時期を見直したい。今後の役員会で検討する。

○広報部

- ・5月号で退任者のあいさつ文と新役員を代表してのあいさつ文を掲載する。
- ・役員25のメーリングリストを作成。
- ・ちば通研講座のチラシを会計監査報告の裏面に印刷して配布した。
また、チラシをホームページに掲載しているのを参考にしてほしい。

○組織部

- ・会員拡大 162人（4月6日現在）
- ・ちば通研講座について
担当者、運営方法についてシナリオをもとに協議して決めた。
- ・ハイブリッドで行うので、機材の持ち込みの確認をする。
- ・総会のハガキはデータ配信希望者と新旧の役員の分を除いて封筒に入れる。
- ・議案書は、会員全員に配布した。今後の議案書の印刷については会員の声を聞きながら判断していく。

<部・班の報告>

○三役から

- ・総会当日は、会場に8時30分に集合して準備をする。

○関東手話通訳問題研究会

- ・創立20周年記念誌が完成した。各支部に近々配送される予定。
是非、記念誌を読んで関東通研のあゆみを学習してほしい。

今後の予定

○5月17日（土） 組織部会議

○5月18日（日） 後援会総会

新芽まつり

○5月24日（土）保育子育て支援班学習会

○5月24日・25日 全通研代議員会

（神戸）

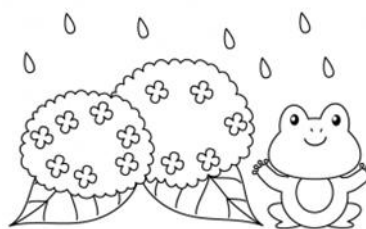
○5月25日（日） TMG学習会

労働班学習会

医療班学習会

○5月27日（火） 広報部会議

○5月30日（金） サポーターズ印刷日



お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail: syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は5月15日(木)です。

E-Mail: c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん 110 番

＜医療的な相談窓口＞

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

＜仲間を守る取組みに関する相談窓口＞

FAX: 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通研健
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近、災害はいつ起きてもお
かしくない状況です。そのため、会員の安否確
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



あ と が き

入学式前の桜が満開の時に、ランドセル
を背負った新1年生?が桜の下で記念写真
を撮っていました。これから始まるんだ
な・・と、わが身に重ね合わせてこちらは
桜だけの写真を撮りました。

今年度からお世話になります。諸先輩方
の力をお借りしながら、何とか新1年生と
して頑張っていこうと思っています。

よろしくお願ひいたします。(IT)

この時期、養成講座の申し込みを済ませ
たか? 希望どおりの会場になるのか? 先
生は誰なのか? といった会話が、同期の間
で飛び交います。そのなかでも「すごく難
しくなるって。ついていけるかなあ。」と不
安そうにしている人も。大丈夫!! なんとかな
る!! 頑張ろう!!・・・これは私が自分
自身に言っている言葉でもあるのです。

よしっ! 今年も頑張るぞ!! (YK)